

平成二十六年
高等学校入学者選抜学力検査問題

第一部

国語

注意

- 1 問題は、**一** から **四** まであり、7ページまで印刷してあります。
- 2 学校裁量問題は、**三** です。
- 3 答えは、すべて別紙の解答用紙に記入し、解答用紙だけ提出しなさい。
- 4 問いのうち、「……選びなさい。」と示されているものについては、問いで指示されている記号で答えなさい。
- 5 問いのうち、字数が指示されているものについては、句読点や符号も字数に含めて答えなさい。

一 次の問いに答えなさい。

問一 (1)、(2)の文の□に、それぞれの読みの漢字一字を入れ、四字熟語を完成させなさい。

- (1) 難題を、一□^{どう}両□^{だん}に解決する。
- (2) 心□^き一□^{てん}して、科学者を目ざす。

問二 (1)、(2)の文から、誤って使われている漢字一字をそれぞれ書き抜き、同じ読みの正しい漢字を書きなさい。

- (1) 当日券を購入する際は、誘働に従って列に並んでください。
- (2) 黄色は明るく目だつ色なので、道路標式によく使われます。

問三 次は、ある中学生が、美術館の学芸員にインタビューを行うために準備した質問メモ(A)と、実際のインタビューの場面(B)です。これを読んで、(1)～(3)に答えなさい。

(A) 質問メモ

- | | |
|---------------|----------------------|
| ア 最も印象的だった展覧会 | イ 学芸員の主な仕事内容 |
| ウ 一日当たりの来館者数 | エ 来館者が作品に親しめるような取り組み |
| オ 学芸員を志した理由 | カ 学芸員を目指す人へのアドバイス |

(B) インタビューの場面

(中学生) 今日は、インタビューを受けてくださいます、ありがとうございます。
よろしく願います。

(学芸員) こちらこそ、よろしく願います。

(中学生) こちらの美術館の学芸員のみなさんは、主にどのような仕事をしているのですか。

(学芸員) はい。私たちは、美術作品を展示したり管理したりするほか、来館者に作品や作者などについての解説もしています。

(中学生) あなたは、どうして学芸員という仕事を選んだのですか。

(学芸員) 中学生の時に、ある美術館で見た絵が好きになり、将来は美術に関わる仕事につきたいと思うようになったことがきっかけです。その後、兄が私に、学芸員について書かれた本を貸してくれました。その本からも大きな影響を受けました。

(中学生) そうですか。私も絵が好きなので、こちらの美術館には何度も来ています。

(学芸員) それはありがとうございます。何度も来てくれているんですね。その中で一番印象に残った展覧会は何ですか。

(中学生) はい。江戸時代の浮世絵の展覧会です。たくさんの人でにぎわっていました。ところで、こちらの美術館を訪れる人たちは、一日にどのくらいいるのですか。

(学芸員) 日によって違いますが、平均すると、一日に約八十名の方がいらっしゃいます。

(中学生) たくさんいらっしゃるんですね。その人たちが作品に親しむことができるように、どのようなことを行っているのですか。

(学芸員) そうですね。まず、作品の展示方法を工夫しています。また、作品を見ながら解説が聞ける音声ガイドを貸し出すなど、作品の紹介方法を工夫しています。

(中学生) そういった取り組みによって、多くの人たちが、より作品に親しめるようにしているんですね。今日はどうもありがとうございました。

(1) (A) の質問メモのあく力のうち、この中学生が (B) のインタビューの場面で質問していないものを、二つ選びなさい。

(2) (B) のインタビューの場面の——線「兄が私に……貸してくれました。」を、文の内容を変えないように、「私は」で始まる一文に書きかえなさい。

(3) 次は、(B) のインタビューの場面の [] で囲んだ部分の内容を、クラスで発表するために作った原稿です。 [] に当てはまる表現を、十五字以内で書きなさい。

私が今回訪れた美術館では、来館者が作品に親しむことができるように、 [] しています。

二

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

問一 ―線「もし」は、どの文節を修飾していますか、ア、エから一つ選びなさい。

ア 堅くて イ 分解するなら ウ まわりに エ いる

問二 ―線1「種子は、生きて……しなければならぬ」とありますが、乾燥した地域に生きる植物の種子がこのようなしなければならぬ理由を、次のようにまとめるとき、
に当てはまる最も適当な表現を、文中から五字以上、十字以内で書き抜きなさい。

移動できない植物が乾燥した地域で枯死しないために、
存在を見きわめる必要があるから。

問三 ―線2「発芽したあと水がある」ことを、種子たちが知るためのしくみ」とありますが、このしくみでは、どのようなときに種子は発芽すると筆者は述べていますか、二つ書きなさい。ただし、いずれも「種皮」という語を使い、三十程度で書くこと。

問四 ―線3「同じ年に……有利に働く」とありますが、発芽する時期が異なると、どうして種族の存続に有利になるのですか、五十程度で書きなさい。

三

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

問一 —— 線1、2を漢字で書きなさい。また、—— 線3の読みを書きなさい。

問二 —— 線1「わくわくした興奮……湧きあがってくる」とありますが、「私」がこのような感じた理由を、三十字程度で書きなさい。

問三 —— 線2「力に満ちた……律動感」とありますが、「私」はこのとき、女たちが繰り返している、どのような作業に律動感を感じたのですか、五十字程度で具体的に書きなさい。

問四 —— 線3「いかに自分が……知らされる」とありますが、「私」がこのように思った理由として最も適当なものを、ア～エから選びなさい。

ア 一人で旅をしていることに孤独感を感じており、鯨の稚魚が生まれて間もなく、群れをなして北の海へ泳ぎ出していくと知って、一体感のある鯨たちと自分を対比したから。

イ 海岸をめがけてやってくるおびただしい数の鯨や、眼の前に広がる膨大な量の海水と波のうねりや轟きに、無尽蔵の巨大な力を感じとり、自然の壮大さと自分を対比したから。

ウ 人々が力を出し合って鯨漁に取り組む様子を見て、都会育ちの自分も、彼らのように活気あふれる生活を送れるだろうかと自問し、人間のたくましさと自分を対比したから。

エ 眼の前に押し寄せてくる波のうねりや轟きは、以前眺めた尽きることのない川の流れと同じく、穏やかな律動感に満ちていることに気づき、悠久の自然と自分を対比したから。

問五 —— 線4「果てしなく大きな自然のめぐり」とありますが、「私」は、鯨のどのような営みを、このように感じたのですか、八十五字程度で書きなさい。

四

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

A、Bはいずれも、初心者が和歌を詠む際の心得について、筆者が自分の考えを述べた文章です。

A 得たる者の歌は、何事をいひ出でたるも、一ふしの興ありておもしろきなり。初心の者これをみて、心にうらやましく思ひて、詠み似せんとすれば、無心所着の何とも無くほれたることを詠み出だすなり。これは何をあそばし候ぞと人が尋ねれば、我もしらずといひて、たはごとを詠むなり。よくよく慎しむべき事なり。

B 初心の程は、無尽に稽古すべきなり。一夜百首、一日千首などのはや歌をも詠みたり。又五首、二首を、五日、六日に案ずる事もあるべきなり。かやうにかけ足を出でたる歌をも詠み、手網をひかふる歌をも詠みつれば、延促自在になりて、上手にもなるべきなり。

(正徹「正徹物語」による)

(注) 得たる者——和歌を詠むことが上手な人。

一ふしの興ありて——どこか優れたところがあつて。

無心所着——意味が通じないこと。ほれたること——ぼんやりしたこと。

五首、二首——ここでは、「数首の和歌」のこと。

延促自在になりて——自分の思うままに歌が詠めるようになって。

問一 〰〰線ア、エのうち、現代仮名遣いで書き表しても、仮名遣いが変わらないものを、一つ選びなさい。

問二 Aの文章には、「初心の者」の発言があります。その部分を書き抜きなさい。

問三 AとBの文章のどちらの内容にも合わないものを、ア、エから一つ選びなさい。

ア 初心者のうちは、上手に和歌が詠めるようになるために、ひたすら和歌を詠む練習をすることが大切である。

イ 初心者が、和歌の上手な人をまねて詠んでも、意味の通じない和歌になってしまうので、気をつけるべきである。

ウ 初心者は、和歌を早くたくさん詠んだり、じっくり考えて詠んだりすることで、自在に和歌が詠めるようになる。

エ 初心者が、趣のある和歌を詠めるようになるためには、和歌の上手な人にあこがれて、その和歌をまねる必要がある。

正
答
表

問題番号	正	答	配点	通し番号	採点基準
------	---	---	----	------	------

計	四			学校裁量問題			三			二				一																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	問三	問二	問一	問五	問四	問三	問二	問一	問四	問三		問二	問一	問三			問二		問一																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
										②	①			(3)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	エ	我もしらず	エ	おびたらしい産卵のあと、二週間もしないで無数の稚魚が生まれ、数か月後には北の海を目ざして去ってゆくが、何年かたって、自分が生まれた同じ海岸へ卵を産みに戻ってくるという営み。	イ	(正答例) つぎつぎと板を渡って汲み船に乗り込み、背負木箱に鉢を一杯にして、波打際に築いた魚置場に運ぶ作業。	(正答例) まっ暗な波の下に無数の魚群がひしめいていることを想像したから。	みりよう	絶(し)	神秘	(正答例) ひどい乾燥や低温などのために、発芽した植物がすべて枯死しても、まだ発芽していない種子が残るから。	(正答例) 堅くて厚い種皮が微生物によって分解されてやわらかくなったとき。	(正答例) 多量の水によって種皮の中の発芽を阻害する物質がなくなったとき。	イ	(正答例) 作品の展示や紹介の方法を工夫	(私)は兄から、学芸員について書かれた本を借りました。	(正答例) カ	ア	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)導	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働	(正しい漢字)式	(誤って使われている漢字)働

(注) 正答表に示された事項以外のものについては、学校の判断による